

# 「CMS製品比較」

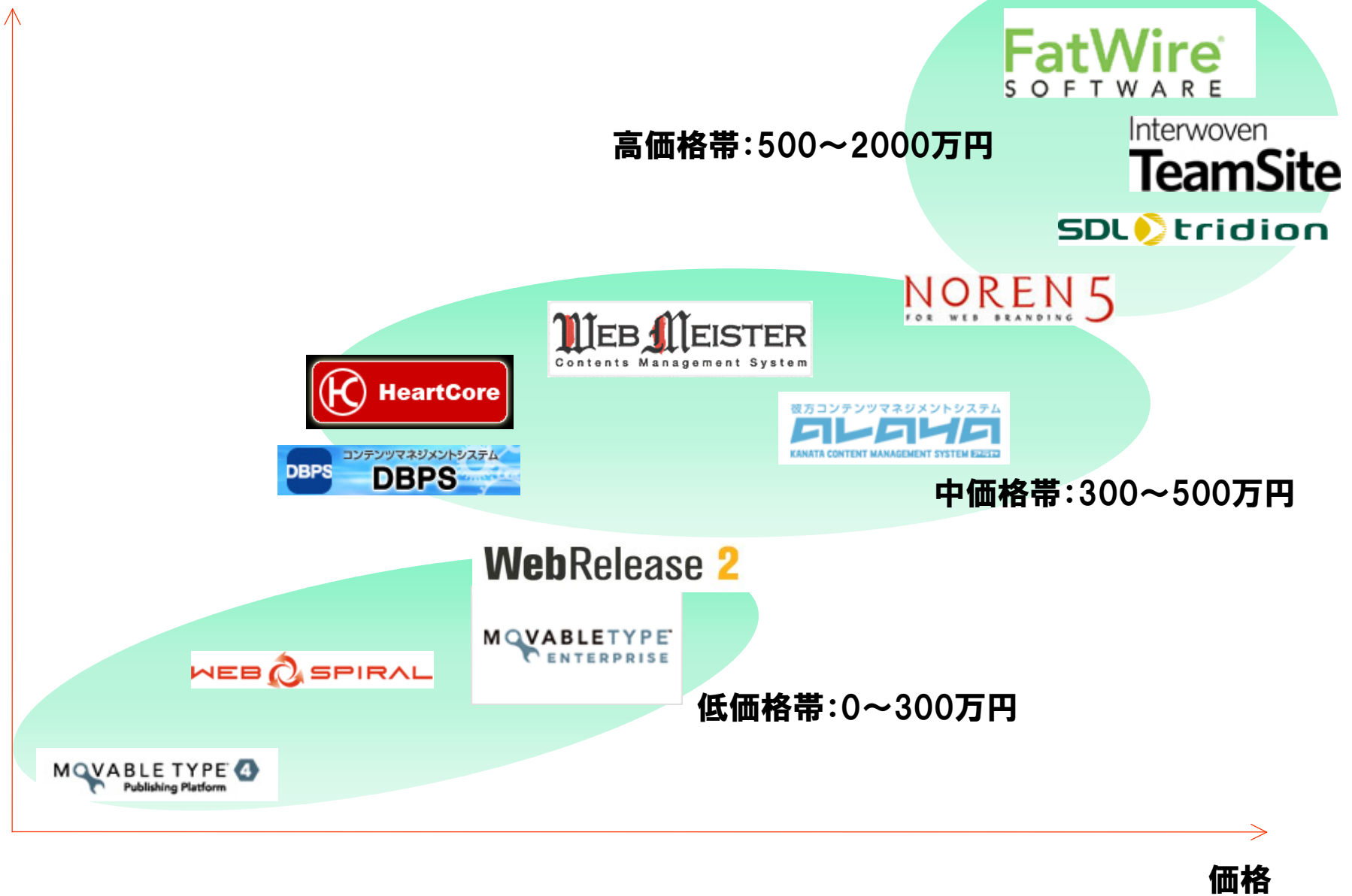
 株式会社 サイズ | 2008.11. 11



<http://www.x-yz.co.jp/>

# ■ CMS製品マップ

機能



	メリット	デメリット	ライセンス費用
小/中/大規模向け 	コンテンツの作成・編集が強い。CMSとして一般的な機能をほぼ有している。	CMSとしての機能しかない。マーケティングに関しては別ソリューションが必要。	News Release Edition : 100万円 オールライセンス : 300万円 1サイト追加 : 50万円
大規模向け 	アクセス解析が強い。CMSとして一般的な機能をほぼ有している。	ライセンス費用が高い。制作が難しい。	480万円～
中/大規模向け 	アクセシビリティに強い。CMSとして一般的な機能をほぼ有している。	管理画面のユーザビリティが悪い。	350万円～
小/中/大規模向け 	動的CMSなので会員サイトに強い。CMS以外の機能が豊富。	CMSも機能の一つであって何でもできるがどれも中途半端。	100万円～500万円(CPUライセンス) Small Business Edition Professional Edition Enterprise Edition
小/中規模向け 	アクセシビリティに強い。	コンテンツの作成・編集少し弱い。サイト移行に手間がかかる。	500ページまで : 190万円
小規模向け 	制作が容易。小規模向けライセンスが安い。	コンテンツの作成・編集が弱い。ワークフロー管理が弱い。大規模サイトの運営にはむかない。	500ページまで : 50万円 500ページ以上 : 300万円
小/中規模向け 	制作が容易。小規模向けライセンスが安い。MOVABLE TYPEのモジュールでステップアップできる。	コンテンツの作成・編集が弱い。ワークフロー管理が弱い。あくまでblogベースである。	Movable Type 4 : 5万円 Movable Type Enterprise : 120万円 Movable Type CMSソリューション : 300万円

# CMS製品比較表

製品名	Web Meister	NOREN5 Content Server	ALAYA	HeartCore	DBPS	WebRelease 2	Movable Type CMSリニューション	Movable Type
対応DB	Oracle 10g	Oracle 10g	PostgreSQL 8/Oracle9i/10g	MySQL/PostgreSQL8/Oracle/SQL Server	MySQL	不要	MySQL/PostgreSQL8/Oracle/SQL Server	MySQL/PostgreSQL8/SQLite
対応OS	Linux/Unix または Windows	Linux/Unix または Windows	Linux/Unix または Windows	Linux/Unix または Windows	Linux/Unix または Windows	Linux/Unix	Linux/Unix または Windows	Linux/Unix または Windows
コンテンツ生成	静的	静的 / 動的	静的	動的	静的	静的	静的 / 動的	静的 / 動的

## コンテンツの作成・編集

WYSIWYGエディタ	○	○	△(オプション)	○	○	×	○	○
サイト構造管理	○	○	○	×	○	×	×	×
コンテンツの再利用	○(モジュール単位)	△	○(ページ単位)	×	×	×	×	×
既存コンテンツ取り込み	○	○	○	×	×	×	○	×
Officeファイル対応	○	○(インポート)	○	○	○	×	○	△
アクセシビリティ対応	○	○	○	○	○	○	○	×

## ワークフロー管理

公開承認ワークフロー	○(3段階)	○(制限なし)	○(制限なし)	△(オプション)	○	△(1段階)	△(1段階)	△(1段階)
ワークフロー通知	○	○	○	△(オプション)	○	×	○	×
作業役割 / 権限分担	○	○	○	△(オプション)	○	○	○	○
ステージ管理	○	○	○	△(オプション)	○	○	○	×

## リポトリ・バージョン管理

世代管理 / ロールバック	○	○	○	○	○	○	○	×
リンク切れチェック	○	○	○	○	○	○	○	×
サイト内検索	○	○	○	○	○	△	○	○

## ファイル公開・配信管理

指定時間公開	○	○	○	○	○	○	○	○
指定時間非公開	○	○	○	○	○	○	○	△

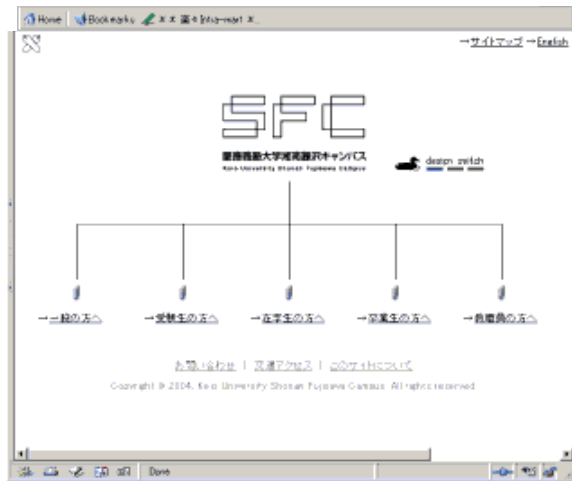
## その他

アクセス解析	△	○	△	○(オプション)	△	△	○	×
ユーザーアンケート	△	△	○(オプション)	○(オプション)	△	△	○	△
携帯電話対応	△	○	△	○(オプション)	○(オプション)	○	△	△

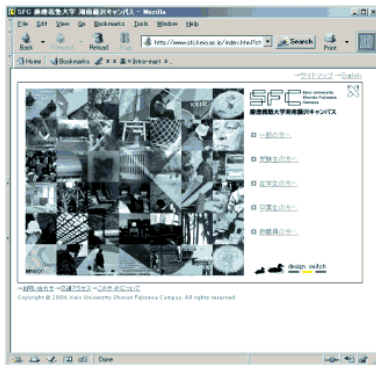
# Web Meister 導入実績：慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス ①



慶應義塾



トップ デザインA



トップ デザインB

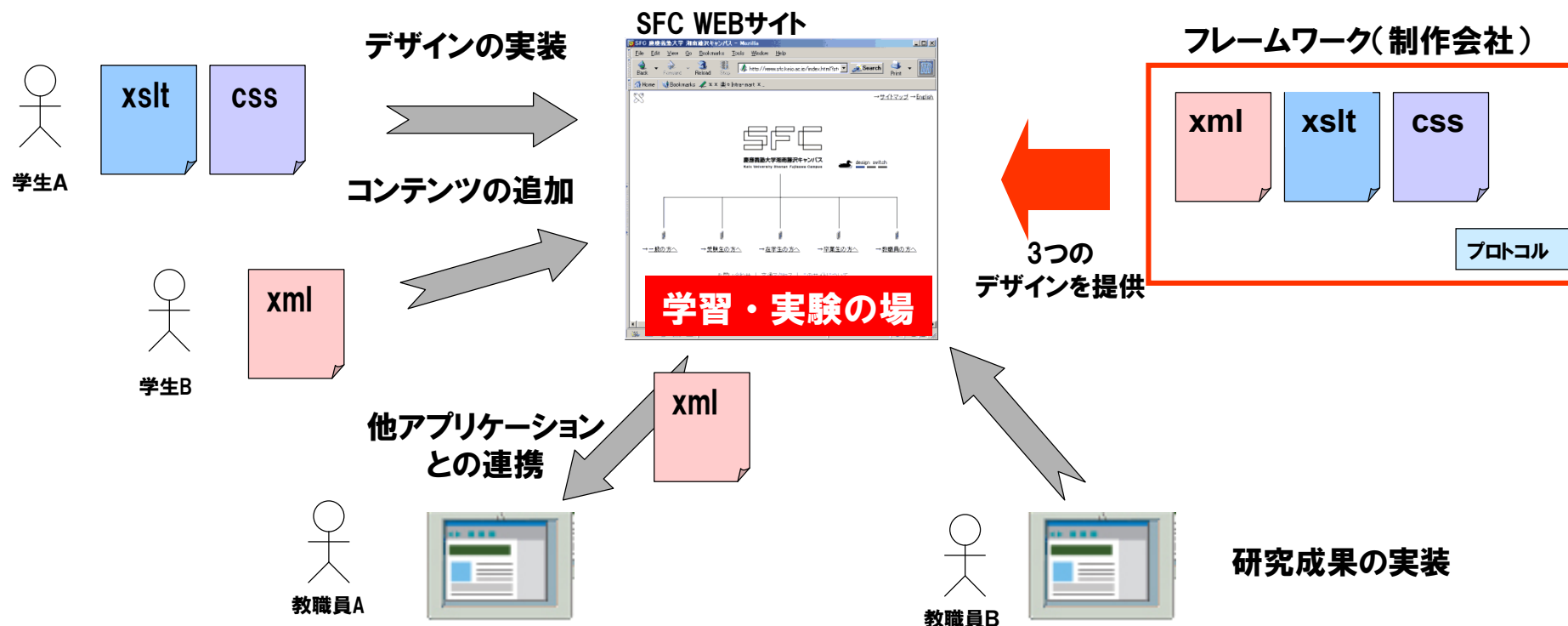


トップ デザインC

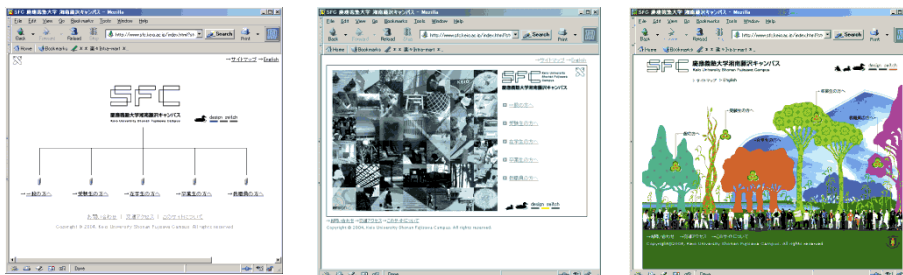
公開	2004年4月～
作業範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報整理・設計</li> <li>● インターフェイス設計・制作</li> <li>● コンテンツ企画</li> <li>● <b>XHTML作成</b></li> </ul> <p>※SFCがW3Cのホスト機関ということもあって  <b>W3Cアクセシビリティガイドライン、XHTML、CSS</b>  <b>の基準に準拠。</b></p>

XMLで全てのコンテンツを管理するCMS(Web Meister)を構築いたしました。  
 スタイルシートでデザインパターンを3つに分けて表示することが可能であり、ユーザーの好みに合わせたクリエイティブを表現。  
 ※Web Designingカンファレンスでの発表事例

- ・MIT、ERCIMと共にW3Cのホスト機関として、世界のWebサイトをリードしていく立場にあるキャンパス。
- ・1990年開設、他大学に先駆けたコンピュータ教育など、常に新しいことを取り入れる。
- ・村井純氏(ミスターインターネット)、竹中平蔵氏(国務大臣・経済財政政策担当大臣)、佐藤雅彦氏( [だんご3兄弟] ) など、豪華な教授陣を揃える。



- Webサイトのフレームワークは制作会社が制作
- 学生・事務員がCMSで更新。
- 学生・教職員の手で自由に実験できる場を提供  
(デザインの実装、コンテンツの追加、他アプリケーションとの連携、研究成果の実装)



## W3C仕様への準拠

- 全てのページ (xhtml) で、W3Cのバリデーションチェックの基準をクリアしている。
- CSSのフローティングだけでレイアウトを規定。W3Cが推奨するコンテンツとデザインの分離を実現する。
- キーワードやディスクリプションなど、メタ情報を全ページに付与。W3Cが提唱する「セマンティック・ウェブ」に対応する。
- アクセシビリティガイドラインに沿ったコンテンツ制作。JISでもアクセシビリティへの配慮が定められており官公庁や大企業では必須要件となる。

